

I 調査の概要

1 調査の目的

本市では、総合計画に示されたすべての目標を達成するためには、人々の生活に密着した市民的諸権利、すなわち人権を確立・維持・発展させることと、その市民的諸権利を互いに尊重し合うことができるまちづくり、すなわち人権行政を推進することが必要不可欠であるとの考えのもと、平成17年3月に「大東市人権行政基本方針」策定しました。

本調査は、「大東市人権行政基本方針」の見直しにあたり、方針策定の基礎資料を得ることを目的として実施したものです。

2 調査対象

大東市内に居住している満18歳以上の市民2,000人*

※調査対象者2,000人のうち1,700人については、住民基本台帳から市内の性別・年齢別構成を考慮し、18歳以上の市民を層化抽出しました。(これを標準サンプルという)。残りの300人については、回収率が低いとみられる18、19歳、20歳～29歳のみから抽出しました(これを追加サンプルという)。

3 調査期間

令和2年11月2日から令和2年11月20日

4 調査方法

郵送による配付・回収(調査期間中に、はがきによるお礼状兼催促状を1回送付)

5 回収状況


年齢区分	配付数	有効回答数	有効回答率
18、19歳	95通	37通	38.9%
20～29歳	475通	140通	29.5%
30～39歳	205通	67通	32.7%
40～49歳	304通	131通	43.1%
50～59歳	282通	151通	53.5%
60～69歳	214通	132通	61.7%
70～79歳	273通	171通	62.6%
80歳以上	152通	75通	49.3%
不明、無回答	—	35通	—
全体	2,000通	939通	47.0%

6 集計結果（ウェイトバック集計）

今回実施した調査については、対象者 2,000 人全員を市内の性別・年齢別構成を考慮し層化抽出したものではなく、回収率が低いと想定される若年層の意見を少しでも多く取り入れるため、2,000 人のうち 300 人を若年層に限定して層化抽出し、追加配付を実施しております。

追加配付するに際し、送付時点（事務局）では、標準サンプルと追加サンプルの調査票の区分については、それぞれのサンプルの結果を合わせても集計結果に特段影響がないと判断したため区分を明確化せず配付、集計を行いました。そのため、全体の単純集計結果は、標準サンプルと追加サンプルを合わせたものとなり、大東市の人口の性別・年齢別構成を厳密には、反映することができなくなったことから、調査結果の単純集計の表示においては、実際の性別・年齢別人口構成を反映させて再集計（ウェイトバック集計）した図表を参考として併せて掲載しております。

7 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が 1 桁の場合、回答件数による表記としています。
- ・ウェイトバックによる補正のグラフは、今回得られた年齢別の回答者数に対して、実際の年齢別人口に合うように、補正をかけたものです。
- ・今回の調査では、自分の性別を「男性」でも「女性」でもないと考える市民がいる可能性を考慮し、回答者の性別を「男性」「女性」「その他」としております。今回の調査では「その他」とした回答者は 3 人おりました。しかし、調査結果を「男性」、「女性」、「その他」で表示すると、「その他」の人の回答結果が如実に表れてしまうため、性別による調査結果の表示は「男性」「女性」のみとさせていただきました。
- ・複数回答につきましては、図表に MA と示しております。

8 組織

調査の実施・分析の充実を図るため、大東市人権擁護施策推進審議会を設置し、学識経験者からの指導・助言を得て、調査を実施いたしました。

大東市人権擁護施策推進審議会委員

※50 音順

No.	氏名	所属
1	いしもと きよひで 石元 清英(会長)	関西大学名誉教授
2	うちだ りゅうし 内田 龍史	関西大学社会学部教授
3	こてら てつや 小寺 鐵也	種智院大学教授
4	じんむら さおり 神村 早織	大阪教育大学地域連携・教育推進センター准教授
5	なかがわ ゆうこ 中川 優子	大東市人権教育研究協議会
6	にしつじ かつひろ 西辻 勝弘	元大東市職員
7	まの こうゆう 間野 功雄	大東地区人権擁護委員会
8	やまのうち ゆうこ 山ノ内 裕子	関西大学文学部教授